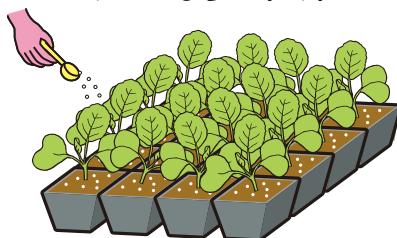


# いろいろな場面で使える農家の常備薬!

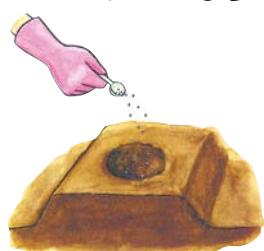
## 育苗期後半に株元処理

- はくさい ●キャベツ ●レタス ●きゅうり  
●ピーマン ●なす ●トマト\* ●ミニトマト\*  
など



## 定植時に植穴処理土壌混和

- はくさい ●キャベツ ●きゅうり ●すいか ●いちご  
●ピーマン ●なす ●トマト ●ミニトマト など



## 鉢上時に株元処理

- トマト\*
- ミニトマト\*



## 生育期に株元散布

- ねぎ
- わけぎ ●あさつき
- きゅうり ●メロン
- なす ●トマト など

## は種時に

- はくさい ●ねぎ
- だいこん
- キャベツ
- ブロッコリー など

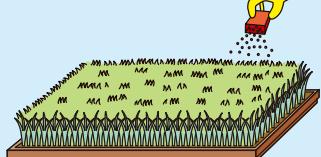
## 植付時に

- ばれいしょ
- かんしょ
- ねぎ など

\*使用時期は「育苗期」または「育苗期後半」



## 育苗箱処理



## 本田散布 動力散粒機など



アブラムシ類



コナジラミ類



マメハモグリバエ



ミナミキイロアザミウマ



トマトハモグリバエ



ネキリムシ



ハイマダラノメイガ

## 生育期株元散布

### ●花き類・観葉植物

- アブラムシ類
- アザミウマ類



## 株元散布

### ●かんきつ(苗木)



ネオニコチノイド系 精虫剤

# ダントリ 粒剤

いろいろな作物に  
使える!!



# タントリ粒剤の適用と使用方法

有効成分：クロチアニジン…0.50%

2021年11月現在の登録内容(太字は2021年10月27日適用拡大)

作物名	適用害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法
はくさい	コナガ、オムシ、アラムシ類、ハイマダラノメイガ、ネキリムシ類	0.5g/株 2g/株	育苗期後半 定植時	いずれかの処理で1回	株元処理 植穴処理土壤混和
	コナガ、オムシ	1~2g/株	定植時		覆土後セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布する
	アラムシ類、ハイマダラノメイガ	0.25g/株	は種時		播溝処理土壤混和
しゅんぎく かぶ、こまつな、ほうれんそう チンゲンサイ	アラムシ類、ハモグリバエ類	6kg/10a	は種時	いずれかの処理で1回	作条処理土壤混和
	アラムシ類	定植時	株元処理		
	アラムシ類、コナジラミ類、ミナミキヨロアザミウマ	1~2g/株	育苗期後半		植穴処理土壤混和
きゅうり	アラムシ類、コナジラミ類	2g/株	定植時	いずれかの処理で1回	株元散布
	ミナミキヨロアザミウマ	2g/株	定植後ただし、収穫前日まで		株元処理
	アラムシ類	1~2g/株	育苗期後半		植穴処理土壤混和
すいか	アラムシ類、ミナミキヨロアザミウマ	1~2g/株	定植時	3回以内	株元散布
	アラムシ類	2g/株	定植時		植穴処理土壤混和
	コナジラミ類	1~2g/株	育苗期後半		株元処理
メロン	アラムシ類	2g/株	定植時	いずれかの処理で1回	植穴処理土壤混和
	アラムシ類、ミナミキヨロアザミウマ、トマトハモグリバエ	2g/株	定植後ただし、収穫前日まで		株元散布
	アラムシ類	1~2g/株	育苗期後半		株元処理
なす	コナジラミ類	1g/株	育苗期後半	いずれかの処理で1回	植穴処理土壤混和
	アラムシ類、コナジラミ類、マメハモグリバエ	1g/株	定植時		株元散布
	アラムシ類	1~2g/株	定植後ただし、収穫前日まで		株元処理
トマト ミニトマト	アラムシ類、コナジラミ類	1g/株	育苗期	いずれかの処理で1回	植穴処理土壤混和
	アサミウマ類	1g/株	育苗期後半		株元散布
	アラムシ類、コナジラミ類、ハモグリバエ類、アサミウマ類	1~2g/株	定植後ただし、収穫前日まで		株元処理
ピーマン	アラムシ類	1g/株	育苗期後半	3回以内	植穴処理土壤混和
	1g/株	定植時	株元散布		
	アラムシ類	1~2g/株	定植後半		株元処理
いちご かぼちゃ だいこん	アラムシ類	3~6kg/10a	は種時	いずれかの処理で1回	播溝処理土壤混和
	レタス	2g/株	定植時		植穴処理土壤混和
	アラムシ類	0.5g/株	育苗期後半		株元処理
非結球レタス なばな、にがうり	アラムシ類	※1	育苗期後半	2回以内	セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布する
	アラムシ類、ハイマダラノメイガ	0.25g/株	は種時		株元処理
	ネギアザミウマ	※1	育苗期後半		植穴処理土壤混和
プロッコリー	コナガ、オムシ、アラムシ類、ハイマダラノメイガ	0.5g/株	アラムシ類	いずれかの処理で1回	セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布する
	アラムシ類	1~2g/株	定植時		株元処理
	コナガ、オムシ、ハイマダラノメイガ	2g/株	定植時		植穴処理土壤混和
キャベツ	アラムシ類、ハイマダラノメイガ	0.25g/株	は種時	3回以内	覆土後セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布する
	アラムシ類、ネギアザミウマ	3~6kg/10a	アラムシ類、ネギアザミウマ		播溝処理土壤混和
	アラムシ類、ネギアザミウマ、コナガ、オムシ、ハイマダラノメイガ	6kg/10a	地床育苗期		株元散布
セリリー はなっこりー	アラムシ類、ネギアザミウマ	※1	育苗期後半	いずれかの処理で1回	セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布する
	アラムシ類、ネギアザミウマ、コナガ、オムシ、アラムシ類	0.5g/株	アラムシ類、ネギアザミウマ		株元処理
	アラムシ類、ネギアザミウマ、ハイマダラノメイガ	1~2g/株	定植時		植穴処理土壤混和
ねぎ	コナガ、オムシ	2g/株	定植時	1回	覆土後セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布する
	アラムシ類	6kg/10a	は種時		播溝処理土壤混和
	ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ	6kg/10a	植付時		株元散布
あさつき、わけぎ みずな らっきょう	ネギアザミウマ、ネギハモグリバエ	3~6kg/10a	受穫3日前まで	4回以内	セル成型育苗トレイまたはペーパーポットの上から散布する
	ネギアザミウマ、ネダニ類	6kg/10a	は種時		株元散布
	アラムシ類	3~6kg/10a	植付時		播溝処理土壤混和
さとうきび	アラムシ類	6kg/10a	受穫2日前まで	2回以内	株元散布
	アラムシ類、メイチュウ類、アオドウガネ	6kg/10a	は種時		播溝処理土壤混和
	カンシャコバナネガムシ、シロスジオサゾウムシ	6~9kg/10a	培土時		株元処理
ばれいしょ かんしょ	カンシャコバナネガムシ、シロスジオサゾウムシ	6~9kg/10a	受穫3日前まで	3回以内	株元散布
	アラムシ類	6kg/10a	植付時		播溝処理土壤混和
	コガネムシ類	6kg/10a	育苗期		作条処理土壤混和
れんこん	アラムシ類	3kg/10a	植付時	1回	全面処理土壤混和
	クワイクビレアラブマシ	4~6kg/10a	受穫7日前まで		株元処理
	コガネムシ類	6~9kg/10a	植付時		植溝処理土壤混和
やまのいも じゅんさい だいす	コガネムシ類	4kg/10a	受穫前日まで	2回以内	無人航空機による散布
	トラフユスリカ	6kg/10a	植付時		作条処理土壤混和
	アラムシ類、フタヌジヒメハムシ	6kg/10a	は種時		湛水散布
えだまめ、あずき かんきつ(苗木)	アラムシ類	10~20g/樹	育苗期	3回以内	無人航空機による散布
	アラムシ類	1~2g/株	定植時		植穴処理土壤混和
	アラムシ類	6kg/10a	受穫7日前まで		湛水散布
とうがん、食用へちま くわい	アラムシ類	1~2g/株	は種時	1回	作条処理土壤混和
	マメハモグリバエ、アサミウマ類	2g/株	植付時		全面処理土壤混和
	アラムシ類	6kg/10a	受穫3日前まで		株元散布
花き類、観葉植物 (さくを除く)	アラムシ類	1~2g/株	発生初期	4回以内	生育期株元散布
	アサミウマ類	2g/株			
	樹木類(げきつきを除く)	6~9kg/10a	生育期		株元散布
げっつき	ミカンギジラミ	30~40g/株	発生初期	6回以内	生育期株元散布
	コガネムシ類	6~9kg/10a	生育期		株元散布
	ウツバク類、ツマグロヨコバエ、ニカメイチュウ	3kg/10a	受穫7日前まで		散布
稻(箱育苗)	カメムシ類	3~4kg/10a	受穫3日前まで	3回以内	無人航空機による散布
	イネミズゾウムシ、イネドロオイムシ、イネヒメハモグリバエ	※2	移植3日前～移植当日		育苗箱の苗の上から均一に散布する
		※3			

\*1:セル成型育苗トレイ1箱またはペーパーポット1冊(30×60cm、使用土壤約1.5~4l)当り50g \*2:育苗箱(30×60×3cm、使用土壤約5l)1箱当り50~100g \*3:高密度には種する場合は1kg/10a [育苗箱(30×60×3cm、使用土壤約5l)1箱当り50~100g]

## !! 使用上の注意(抜粋) !!

●本剤を無人航空機による散布に使用する場合は、次の注意を守ってください。

- 散布は各散布機種の散布基準に従って実施してください。
- 散布にあたっては散布機種に適合した散布装置を使用してください。
- 事前に本剤の物理性に合わせて散布装置のメタリング開度を調整してください。
- 本剤の飛散によって他の植物に影響を与えないよう散布区域の選定に注意し、当該圃場周辺部への飛散防止のため散布装置のインペラの回転数を調整してください。
- 水源池、飲料用水等に本剤が飛散、流入しないように十分注意してください。
- 水槽の本体(3cm前後の湛水とする)及びくわい、れんこん、じゅんさいに使用する場合、田面に均一に散布し散布後4~5日間は湛水状態を保ら、散布後7日間は水落、かけ流ししないでください。
- 稻(箱育苗)に使用する場合は次の注意を守ってください。
  - 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、そのまま田植機にかけて移植してください。
  - 育苗箱(30×60×3cm、使用土壤約5l)1箱当りに乾粉として200から300g程度を高密度には種する場合、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
  - 軟弱促長苗、むれ苗、移植適期を過ぎた苗などには薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
  - 誤って過剰に使用したり、本剤使用後4日以上移植せずに育苗箱中におくと葉枯れなどの薬害を生じることもあるので、所定の使用量、使用時期、使用方法を厳守してください。
- 使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は圃場等に放置せず適切に処理してください。

03R11K21D83:ZS

2021年11月作成(全新企画社)

大地のめぐみ、まっすぐへ  
SCA GROUP

T103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト [i-農力](https://www.i-nouryoku.com) https://www.i-nouryoku.com

住友化学

